

- ◇ゴールデンウィークになると、そろそろ暑くなり始めるなど思い出すのが通例でした。しかし最近では、夏日（最高気温が25℃以上）どころか、真夏日（30℃以上）になるのではないかという懸念も珍しくなくなってきています。この時期に屋外で防災訓練を実施するのも雨天より熱中症の方が気になるところ。
- ◇今月号の「とびら」は分析化学誌編集理事である京都府立大学の久保拓也先生です。近年急速に一般化してきた生成AIを利用した英語論文作成を学生にも推奨されているとのこと。先生も指摘されていますが、ときには本人の理解以上に整った文章が仕上がることもあるようです。ただ、実験結果を理解・解釈する上でも日本語での論理的な文章構成は必須とのご意見。昨今のAIの急激な発展を見ていたら、芸術的創作含め様々な分野でAIに取って代わられる未来がすぐそこに来ているのかもしれない。
- ◇「リレーエッセイ」は微生物化学研究所の澤竜一先生です。機器分析を通して様々な研究者の方との交流から『機器分析ユーザー会』設立に至る経緯などをご紹介します。
- ◇この原稿執筆日は真夏日どころか20℃にも届かない梅雨冷えです。五月雨の時期について検索すると、AIが瞬時に概要をまとめてくれました。この「便利さ」こそがAIの大きな利点だと実感しています。

[H. M.]

〈とびら〉

AIと丸腰のはざままで……………高田 主岳

〈講 義〉

獣医学教育における環境衛生学（水質汚濁）……………杉田 和俊

〈ミニファイル〉 Abbreviations in 分析化学（分析化学で使われる略号）

質量分析で使われる略号……………津越 敬寿

〈話 題〉

マイクロ波を用いた計測手法……………椿 俊太郎

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 鈴木 保 任 (金沢工大バイオ・化学)		
〈副委員長〉 山口 浩 輝 (味の素 株)		
〈理 事〉 山口 央 (茨城大理)		
〈幹 事〉 半田友衣子 (埼玉大工)	北 牧 祐 子 (産業技術総合研究所)	岡 崎 琢 也 (工学院大学先進工)
鹿籠 康 行 (東北大金材研)		
〈委 員〉 村山 周 平 (昭和医科大薬)	田原佳代子 (九州医療科学大薬)	古 野 忠 秀 (愛知学院大薬)
石橋 千 英 (愛媛大院理工)	岡 林 識 起 (日大生物資源科学)	原 田 誠 (東京科学大理)
角 田 誠 (国際基督教大教養)	宮 川 晃 尚 (広島大院先進理工)	稲 川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)
橋 本 泰 樹 (ライオン 株)	黒 木 康 生 (サイエンス・コミュニケーション)	宇 田 亮 子 (奈良工業高専)
西 崎 雄 三 (東洋大食環境科学)	鎗 田 孝 (茨城大農)	高 柳 学 (ジールサイエンス機)
中屋 佑 紀 (北大院工)	大 江 知 行 (東北大院薬)	佐 藤 貴 弥 (日本電子 株)
北 川 慎 也 (名古屋工業大工)	萩 森 政 頼 (武庫川女子大薬)	管 原 庄 吾 (島根大学術)
岸 川 直 哉 (長崎大院医歯薬学)		

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2026年 第6号（通巻618）

2026年6月1日印刷

2026年6月5日発行

定価1,250円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX：03-3490-3572 振替口座：00110-8-180512

© 2026, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。